

(おー28) 畜産ビッグデータ活用プラットフォーム

目的

国産畜産物を高品質化するために必要な飼料管理・疫病管理・繁殖管理・肥育管理・肉質管理・流通管理・マーケティングなどについて包括的統合的データベースの構築を目指し研究開発を行う。

普及目標

2018年設立

- 2022年までに、畜産ビッグデータを用いた、消費者嗜好に対応した肉質向上技術を開発する。
- 2025年までに、育種、繁殖、疾病管理、肥育を包括的に評価する技術を開発する。
- 2030年までに、開発技術の事業化を行い全国的な普及を行う。

事業化内容



漢方・生薬
酒粕
しょうゆ粕



みかんジュース粕



「株式会社ビーフソムリエ」ローンチ

卸・流通・小売への普及活動

2024年

近大鴨
販売開始

2023年

2022~24年 STANT(牛)
2023~25 JRA事業(豚)

普及事業

パスタ



くまのポーク
販売開始

2018年

2018年 設立

2015~17 農食事業

紀州和華牛
販売開始

2020



コラボ商品開発



オープンキャンパス



動物感謝デーinわかやま



EXPO2025



日本畜産学会大会



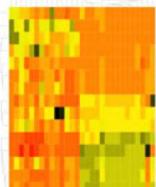
KBMSS研究会

開発技術

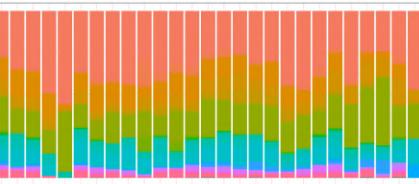
畜産ビッグデータ

生体血清プロテオーム
(ビーフソムリエ)

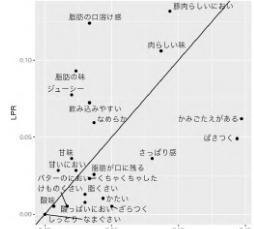
生体血清メタボローム



鼻汁メタゲノム



消費者嗜好調査



【参考機関】

近畿大学生物理工学部、家畜改良センター、農研機構、和歌山県畜産試験場、有限会社中勢以、佐賀県畜産試験場、埼玉県農業技術研究センター、愛知県農業総合試験場、日本大学生物資源科学部、ユニアデックス(株)、(株)シムコ、(株)相馬光学、株式会社AnimoScience、茨城県畜産センター養豚研究所、大分県農林水産研究指導センター、広島大學生物生産学部、自然科学研究機構基礎生物学研究所、京都大学大学院農学研究科、茨城大学農学部、九州大学大学院農学研究院

総括プロデューサー：近畿大学生物理工学部 松本和也
コーディネーター：家畜改良センター 入江正和

プラットフォーム事務局連絡先：
近畿大学生物理工学部 白木琢磨 TEL 0736-77-3888
(shiraki@waka.kindai.ac.jp)